



平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年5月9日

上場取引所 東

上場会社名 パラカ株式会社

コード番号 4809 URL <http://www.paraca.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 駒井 雄一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 間嶋 正明

TEL 03-6230-2300

四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト・金融機関向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第2四半期の業績(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	5,956	11.3	1,238	24.6	1,114	27.9	739	34.2
27年9月期第2四半期	5,352	6.9	993	9.0	871	11.7	550	10.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	77.09	75.39
27年9月期第2四半期	58.52	57.09

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年9月期第2四半期	24,859	9,852	39.2
27年9月期	23,476	9,416	39.7

(参考)自己資本 28年9月期第2四半期 9,754百万円 27年9月期 9,330百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	29.00	29.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	36.00	36.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成28年9月期の業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,300	18.4	2,310	13.4	2,040	14.2	1,340	18.3	139.73

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、四半期決算短信(添付資料)4ページ「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年9月期2Q	10,008,000 株	27年9月期	9,997,000 株
28年9月期2Q	415,028 株	27年9月期	415,028 株
28年9月期2Q	9,586,611 株	27年9月期2Q	9,412,367 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(自平成27年10月1日至平成28年3月31日)における我が国の経済は、新興国経済の減速に伴う影響などから輸出や生産面に鈍さがみられるものの、雇用・所得環境の着実な改善、設備投資の増加により、全体として緩やかな回復基調が続いております。

当社の属する駐車場業界においては、慢性的な駐車場不足や都市部での建築需要、建築に伴う駐車場の減少を背景に売上について底堅く推移しました。

このような中で、当社は引き続き積極的な営業活動を行い、新規駐車場の開設を進めるとともに、既存駐車場においても料金変更を機動的に行うなど採算性向上に努めました。

その結果、当第2四半期累計期間においては、130件1,583車室の新規開設、49件968車室の減少により、81件615車室の純増となり、3月末現在1,686件23,485車室が稼働しております。

以上の活動により、当第2四半期累計期間の売上高は、5,956百万円(前年同期比11.3%増)、営業利益1,238百万円(同24.6%増)、経常利益1,114百万円(同27.9%増)、四半期純利益739百万円(同34.2%増)を計上いたしました。

当社の具体的な駐車場形態毎の状況は以下の通りであります。

(賃借駐車場)

当第2四半期累計期間においては、122件1,502車室の開設及び49件968車室の減少により、73件534車室の純増となりました。その結果、3月末現在1,562件19,834車室が稼働しております。新規駐車場の開拓が堅調に推移し、前期にオープンした駐車場を含む既存駐車場の売上が順調に推移したため、売上高は4,902百万円(前年同期比10.5%増)となりました。

(保有駐車場)

当第2四半期累計期間においては、大阪市2件10車室、高知市2件26車室、横浜市1件4車室、熊谷市1件5車室、秋田市1件19車室、盛岡市1件17車室、合計8件81車室を新規開設いたしました。その結果、3月末現在、124件3,651車室が稼働しており、売上高は852百万円(同12.2%増)となりました。このほか、当第2四半期累計期間において、水戸市1件5車室分、徳島市1件38車室分、高松市1件8車室分の駐車場用地を取得しており、平成28年9月期中にオープンを予定しております。

(その他売上)

当第2四半期累計期間においては、不動産賃貸収入、自動販売機関連売上、駐輪場売上、太陽光発電売上により売上高は201百万円(同30.6%増)となりました。

当事業年度における駐車場形態毎の販売実績は以下のとおりです。

	前第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)	前事業年度 (自平成26年10月1日 至平成27年9月30日)
駐車場形態	金額(百万円)	金額(百万円)	金額(百万円)
賃借駐車場	4,437	4,902	9,081
保有駐車場	760	852	1,559
その他売上	154	201	355
合計	5,352	5,956	10,997

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は24,859百万円となり、前事業年度末に比べ1,382百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産 機械及び装置（純額）の増加（470百万円）及び土地の増加（759百万円）によるものであります。

当第2四半期会計期間末における負債の部は15,006百万円となり、前事業年度末に比べ946百万円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加（783百万円）によるものであります。

当第2四半期会計期間末における純資産の部は9,852百万円となり、前事業年度末に比べ435百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加（453百万円）によるものであります。この結果、自己資本比率は、前事業年度末の39.7%から39.2%となりました。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」）は、前事業年度末に比べ307百万円増加し、3,012百万円となりました。主な要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は前年同四半期に比べ545百万円増加し、1,271百万円となりました。これは主として、税引前四半期純利益1,109百万円、減価償却費357百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は前年同四半期に比べ234百万円減少し、1,130百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出1,121百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は前年同四半期に比べ1,175百万円減少し、166百万円となりました。これは主として、借入金による収入1,900百万円、借入金の返済による支出1,188百万円、リース債務の返済による支出247百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の我が国経済については、雇用・所得環境の改善や個人消費の持ち直し、堅調な企業の投資マインドを背景に回復基調が続いていくとみられております。

当社の属する駐車場業界におきましても、引き続き一定の解約はあるものの、依然として、時間貸駐車場の供給は足りず、需給バランスがタイトな状況が続いております。

このような状況のもと、前事業年度に引き続き、新卒を中心とした営業人員の採用及び各拠点に適切な人員の配置を行うとともに、営業支援システムの機能向上、情報の蓄積と活用を図り、更に効率的な営業活動を行うことで、駐車場の新規開拓を推進してまいります。既存駐車場については当該システムを活用し、機動的に料金変更を行うなど収益性の向上を目指します。また、保有駐車場用地については、地方の中核都市を中心に取得を目指します。

今後につきましては、世界経済の更なる下方リスクが指摘されるなど不透明さは増しているものの、保有駐車場の取得が順調に進んでいること、前期にオープンした駐車場を含む既存駐車場の売上が堅調に推移すること、収益性の低い大型駐車場が平成28年7月末でその運営を終了し、利益率が改善することが見込まれております。

以上を踏まえ、当第2四半期までの実績値を考慮し、売上123億円、営業利益23.1億円、経常利益20.4億円、当期純利益13.4億円に当期の業績予想を上方修正いたします。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。この影響のため、実際の業績が公表している見通しと異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用の計算については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,735	3,042
売掛金	93	112
前払費用	538	560
その他	82	140
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	3,449	3,855
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	796	778
機械及び装置（純額）	703	1,173
土地	15,809	16,569
リース資産（純額）	1,756	1,786
その他（純額）	617	351
有形固定資産合計	19,683	20,659
無形固定資産	30	26
投資その他の資産	312	317
固定資産合計	20,026	21,003
資産合計	23,476	24,859
負債の部		
流動負債		
買掛金	158	170
1年内償還予定の社債	40	30
短期借入金	211	100
1年内返済予定の長期借入金	1,226	1,267
未払法人税等	295	417
賞与引当金	37	32
株主優待引当金	6	—
その他	718	727
流動負債合計	2,695	2,744
固定負債		
社債	250	240
長期借入金	9,200	9,983
リース債務	1,367	1,392
株式給付引当金	7	20
資産除去債務	163	178
その他	374	445
固定負債合計	11,364	12,262
負債合計	14,059	15,006

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成28年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,699	1,702
資本剰余金	2,034	2,037
利益剰余金	6,155	6,609
自己株式	△405	△405
株主資本合計	9,483	9,944
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9	5
繰延ヘッジ損益	△163	△196
評価・換算差額等合計	△153	△190
新株予約権	86	98
純資産合計	9,416	9,852
負債純資産合計	23,476	24,859

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	5,352	5,956
売上原価	3,838	4,125
売上総利益	1,514	1,831
販売費及び一般管理費	520	593
営業利益	993	1,238
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
未払配当金除斥益	0	0
受取保険金	—	1
その他	0	0
営業外収益合計	0	1
営業外費用		
支払利息	121	123
その他	2	2
営業外費用合計	123	125
経常利益	871	1,114
受取和解金	—	1
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	2
特別損失		
固定資産除却損	6	7
特別損失合計	6	7
税引前四半期純利益	865	1,109
法人税等	314	370
四半期純利益	550	739

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	865	1,109
減価償却費	305	357
賞与引当金の増減額(△は減少)	2	△4
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	121	123
固定資産売却損益(△は益)	△0	△0
固定資産除却損	6	7
売上債権の増減額(△は増加)	△43	△19
仕入債務の増減額(△は減少)	35	11
株主優待引当金の増減額(△は減少)	—	△6
株式給付引当金の増減額(△は減少)	—	12
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1	△48
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△32	33
その他	32	83
小計	1,291	1,659
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△122	△123
法人税等の支払額	△442	△264
営業活動によるキャッシュ・フロー	726	1,271
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,380	△1,121
有形固定資産の売却による収入	52	2
無形固定資産の取得による支出	△28	△1
敷金及び保証金の差入による支出	△4	△13
敷金及び保証金の回収による収入	1	—
その他	△4	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,364	△1,130
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	806	407
短期借入金の返済による支出	△458	△519
長期借入れによる収入	1,846	1,493
長期借入金の返済による支出	△556	△669
社債の償還による支出	△20	△20
株式の発行による収入	49	5
リース債務の返済による支出	△212	△247
配当金の支払額	△112	△283
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,342	166
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	703	307
現金及び現金同等物の期首残高	1,870	2,705
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,574	3,012

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業は、駐車場の開拓及び運営管理に関連する事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。